

今日の給食は、えびしゅうまい、豚キムチ、たまごスープ、ご飯、牛乳でした。
「キムチ」が日本の食卓で一般的になったのはいつの頃からでしょうか？子供の頃、真っ赤なラベルの瓶入り「キムチの素」の印象はあるのですが、食べた記憶はあまりありません。いつの間にか食卓で欠かせない味の一つになりました。味付けも微妙に違うので、好みの味のキムチを見つけるのも楽しみの一つです。
「豚キムチ」も、日本の食卓では比較的新しめの料理でしょうか？「豚キムチ鍋」や「豚キムチラーメン」のように応用編もありますね。ところで、ラーメン（インスタント）と言えば、かつては「醤油」「味噌」「塩」が定番だったような気がします。醤油は「出前一丁」か「チャルメラ」、味噌は「サッポロ一番」、塩は「マルちゃんの塩ラーメン」といった好みがありました。しかし、後に多様な味のラーメンが登場するようになりました。永遠のカップ麺の定番「カップヌードル」でも「カレー」「シーフード」「チリトマト」「ポークチャウダー」（今あるかな？）など魅力的な味がありますね。話はどんどん変わって申し訳ないのですが、カップ麺の出してくる自動販売機がありました。好きだったなあ。やや心もとない割り箸やプラスチック製のフォークで食べるのも独特の味わいがあったので好きでした。ハンバーガーとか出してくる自動販売機もありましたね。今もあるのかな？

